

「働き方改革セミナー in 福井」を開催

～ 企業、団体、教育機関など90名が参加 ～

総務省北陸総合通信局（局長 濱島 秀夫）は、平成29年10月31日（火）、福井県生活学習館（ユー・アイふくい）において、福井県及び北陸情報通信協議会（会長 久和 進 北陸経済連合会会長）と共催で「働き方改革セミナー in 福井 ～「働く、が変わる」テレワーク～」を開催しました。（後援：厚生労働省福井労働局）

ICTを活用するテレワークは、働く場所や時間を柔軟に選択できるワークライフバランスの実現など働き方改革にも有効な手段として期待されています。このセミナーは、総務省における「テレワーク月間」の一環として、その普及促進を図ることを目的に開催したもので、企業・団体や教育機関などから約90名の参加がありました。

はじめに、総務省情報流通行政局情報流通高度化推進室の鈴木敦課長補佐が、政府の方針や主な取組について説明し、社会保険労務士法人NSRの中島康之氏は、テレワーク在宅勤務のガイドライン等労務管理面を、株式会社テレワークマネジメントの鶴澤純子氏は、セキュリティに有効な端末のシンクライアント化等について講演されました。

事例紹介では、総務省テレワークマネージャーの森本登志男氏が、佐賀県庁での全庁テレワーク化についてエピソードをまじえながら説明され、地元福井市の株式会社永和システムマネジメントの斉藤敏雄氏が、テレワーク導入や多種多様な働き方改革の取組を紹介され、「やれるところからやってみましょう」と参加者に呼びかけました。

重度肢体障害者の在宅雇用に取り組まれている株式会社沖ワークウエルの津田貴氏からは、在宅勤務中の社員とコミュニケーションを図りながらテレワークを進めていること、在宅勤務の社員の採用にあたっては特別支援学校との連携が必要であることが紹介されました。

セミナー終了後、テレワーク導入を検討する企業などを対象とした個別相談会も開催しました。

総務省では、テレワークの導入を検討する企業・団体、地方公共団体に対して、テレワークの知見やノウハウを有する専門家を派遣する「テレワークマネージャー派遣事業」を実施しています。

希望される場合は、以下URLをご参照ください。

【平成29年度テレワークマネージャー派遣事業】

<http://www.keieiken.co.jp/h29telework/>



【セミナーの様子】福井県生活学習館

働き方改革セミナー in 福井

【講演】

- 「テレワークをめぐる最新動向」
総務省情報流通行政局 課長補佐 鈴木 敦（すずき あつし）
- 「テレワーク実施時の労務管理上の留意点」
社会保険労務士法人NSR
代表 中島 康之（なかじま やすゆき）氏
- 「情報通信技術における留意点」
（株）テレワークマネジメント マネージャー
シニア・コンサルタント 鶴澤 純子（うざわ じゅんこ）氏

【事例紹介】

- 「佐賀県でのテレワークの導入事例とテレワーク推進の勘所」
総務省テレワークマネージャー 森本 登志男（もりもと としお）氏
- 「テレワーク導入体験談 魅力ある働き方を見つける
～働きたい会社、働きやすい会社、働き続けたい会社」
（株）永和システムマネジメント 管理部
シニアアドバイザー 斉藤 敏雄（さいとう としお）氏
- 「OKIワークウエルの重度肢体障害者の在宅雇用について」
（株）沖ワークウェル 代表取締役社長 津田 貴（つだ たかし）氏

お問い合わせ先：情報通信部情報通信振興室
076-233-4430